

エゼキエル書 44章

- 1 そして彼は東に向かう聖所の外の門への道に私を連れ戻した、
そしてそれは閉じてあった。
- 2 そして主は私にいった、この門は閉じられなければならない、開いてはいけない、そして誰もここを通過してはいけない；
それはイスラエルの主なる神がそこを通過するから、そしてそれは閉じられる。
- 3 それは、主の前にパンを食べるべく君主がそこに座すから；
彼は門のポーチを通過して入り、同じように道を通って出る。
- 4 そして彼は宮の前の北に向かう門への道へ私を連れて行った： そして私は見た、そして見よ、宮は主の栄光に満ちていた： そして私は私の顔を伏した。
- 5 そして主は私にいった、人の子よ、私があなたに語るすべてのこと、イスラエルの家の全ての規則、そしてその全ての規定に従い、それにあなたの心に向けよ、そしてあなたの目で見よ、そしてあなたの耳で聞け、
そしてあなたはすべての聖なるものの中で、そのすべての出口に従い、
宮の入り口によく心に向けよ。
- 6 そしてあなたは反抗する家にいえ、イスラエルの家に、
このように主なる神はいわれる；
あなたが犯したすべてのあなたの不正で満足せよ、おおイスラエルの家よ。
- 7 あなたは異邦人を持ち込み、心に割礼がなく、からだに割礼がないものを私の聖所におらせ、あなたがパンと肉と血とを捧げるとき、それを汚し、
あなたの全ての不正により、私の契約を犯した。
- 8 そしてあなたは私の聖所の教えを守るのに、他の人々を任命した。
- 9 それゆえ、主なる神はこういわれる；
外国人、心に割礼のないもの、体に割礼のないものは誰も、私の聖所に入っては行けない、イスラエルの家のまなかにある全ての異邦人の子達は。
- 10 しかし、イスラエルがその心が私から離れたとき、わたしから離れたレビ人に関しては、彼らは彼らの不正を負う。

- 1 1 彼らは私の聖所の働きをなすべきであり、宮の門で運ぶ人となり、
宮につかえる： 彼らは犠牲を殺し、人々への全焼のいけにえをささげ、
そして彼らは彼らに仕えるべく民の前に立つべきであった。
- 1 2 何故なら、彼らは彼らの偶像の前で彼らに奉仕をしたからである、
そしてそれはイスラエルの家には不正の罰となる；
それゆえ、私は彼らに対して腕を上げる、と主なる神はいわれる。
- 1 3 そして彼らは祭司の部屋で私に奉仕するために私に近づかなかった、
イスラエルの子達の聖なるものにも近づかなかった、至聖所にも近づかなかった：
しかし、彼らが誤った場所で、彼らの誤りに対する非難を負う。
- 1 4 彼らは彼らを宮の教えを守るために連れてきた、
その全ての奉仕のために、彼らが行うべきすべてのために。
- 1 5 レビの祭司は、ツアドクの息子たち、イスラエルの家が私から離れたとき、
私の聖所の教えを守ったものは、私に仕えるために私に近づけ、
私の顔の前に立て、私に捧げものを捧げ、脂肪と血をささげるために、と主なる神は
いわれる。
- 1 6 彼らは私の聖所に入り、私のテーブルに近づく、私に仕えるために、
そして彼らは私の命令を守る。
- 1 7 そしてこうなる、彼らが内庭の門に入るとき、彼らは麻の上着を着るべきである、彼
らが内庭の門で仕えるときは彼らは羊毛の上着を着ない。
- 1 8 そして彼らは彼らの頭の上に麻のかぶりものをかぶり、そして麻のももひきを腰の上
に着る、そして彼ら自身を堅く守らない。
- 1 9 そして彼らが人々へと外庭に出て行くとき、彼らは仕えるとき着ていた服を脱ぎ、そ
してそれを聖所の小部屋にかける、そして他の服もかける、
そして人々を彼らの服により、聖なるものとしてはいけない。
- 2 0 そして彼らは彼らの頭を剃らず、彼らの頭髪を抜かず；
彼らは彼らの頭を注意深く覆う。
- 2 1 そして祭司は彼が内庭に行くときは、何もぶどう酒を飲んではいけない。

- 2 2 彼らは自分のためにやもめ、もしくは出された女を妻としてはいけない、
そうでなく、イスラエルの種族の処女をめとる：
しかし、それが祭司のやもめなら、彼らは彼女をめとることができる。
- 2 3 そして彼らは私の民に聖と穢れを区別するために教える、
そして彼らは彼らにきよいものときよくないものの区分を知らせる。
- 2 4 そしてそれを決めるために血の裁きに加わる：彼らは正しく私の規定を見る、そして
私の裁きを裁く、そして私の全ての祭りで私の法令と教えを守る；
そして彼らは私の安息日を尊重する。
- 2 5 そして彼らは彼らを汚さないために人の死体に行かない：
祭司のみが彼の父の、母のもしくは息子、娘、兄弟、結婚していない彼の姉妹のため
に自身を汚すことができる。
- 2 6 そして彼が清められたあと、彼のために7日を数える。
- 2 7 彼らが、聖所に仕えるために内庭に入る日に、
彼らはなだめの供え物を持っていかなければならない、と主なる神はいわれる。
- 2 8 そしてそれは彼らにとり、相続となる：私は彼らの相続である：
そしてイスラエルの子らの間で彼らには他に何の相続も与えられない；
それは私が彼らの相続だからである。
- 2 9 そして彼らは食物のささげもの、罪のささげもの、反逆のささげものを食べる：
そしてイスラエルのうちの全ての特別なささげものは彼らのものである。
- 3 0 そしてすべてのものの最初の実、すべての動物とすべてのささげものの初子、あなた
のそこでの最初の実は祭司に分けられる、そしてあなたはあなたの最初のみをあなた
の家に祝福をもたらすために祭司に捧げる。
- 3 1 そして祭司は自然に死んだ、また野獣にとられたどんな鳥も獣も、食べてはならない。